

0 ペインクリニックとは...

Pain (痛み) を対象として Clinic (診療) 疼痛の診断と治療を行う。

→ 日本では **神経ブロック** が主体。

言葉とP1

0 痛みは **知覚、認知、感情、行動** の4つの面から成り立つ

《性質》の 刺すような速い痛み (fast pain)

↳ Aδ (有髄の速い痛覚と温、冷覚) 線維

② じくじくするような遅い痛み (slow pain)

↳ C (無髄の遅い痛覚) 線維

• 慢性痛を取り巻く要因

- 身体的要因: 手術、外傷...
- 精神的・心理的要因: 不安、不満、うつ...
- 社会生活的要因: 不眠、ストレス、経済的・家庭の問題...

• 慢性疼痛患者では **アロディン** や **侵害刺激** (痛み刺激をくり返す) によって過剰な痛み (**痛覚過敏**) がみられることがある。⇒ **興奮性神経受容体** が関係

アロディン

正常者では痛みの原因とならない刺激 (軽く触るなど) によって痛みが現れること。

神経ブロック療法

• 使われる薬剤

1. 局所麻酔剤
2. 神経破壊剤

局麻酔について

1) 濃度が濃いほど量が多いほど速く作用し、持続も長い。

2) 細い神経線維から麻酔がのびる

交感神経 > 温度覚 > 痛覚 > 触覚 > 圧覚 > 運動神経
の順に麻痺する。

これを利用して、運動や触覚を保ちながら痛覚のみをブロックすることも可能 (= **選択的神経ブロック**)

(1) 硬膜外ブロック

持続的に薬液を注入して除痛をはかることも多い

(対象: 椎間板ヘルニア、**帯状疱疹** など)

神経障害性疼痛の代表。

皮膚に分布する知覚神経: ヤコビー線は L4/5